

# 日本生物物理学会 北海道支部講演会

日時：2008年1月8日(火) 13:30-14:30

場所：北大 学術交流会館・小講堂

(札幌市北区北8条西5丁目 Tel:011-706-2141)

講師：美宅 成樹 先生 (名古屋大学大学院工学研究科)

## 演題：電荷周期性のあるタンパク質は どう進化したか？

ゲノムからの全タンパク質を解析したところ、電荷の分布に非常にシャープな周期性が見られた。それらのタンパク質がどのように進化の過程で増えてきたかということは、進化のプロセスを考える上で非常に大事な問題である。私たちが最近開発している計算科学的アプローチとからめて紹介したい。

美宅先生は2007年度まで日本生物物理学会会長を務められました。今回、北大大学院生命科学院の特別講義として来札されるのを機会に、先生の最新の研究をご紹介いただけることになりました。多数の皆様のご来場を歓迎いたします。

問合せ先：

出村 誠 (北大院先端生命)

Tel: 706-2771

demura@sci.hokudai.ac.jp